

## G20サミットの大阪開催の決定を受けて

大阪維新の会大阪府議会議員団

幹事長 鈴木 憲

この度、大阪府と大阪市が共同で、政府に対して開催を願い出ていた「G20サミット首脳会議」の会場地が大阪に決定されたという、非常に喜ばしい報せがありました。

大阪維新の会府議団としましても、大阪府と大阪市が共同で、2019年に日本で開催が予定されている「G20サミット首脳会議」の誘致をめざして、11月13日に、外務省へ応募書類を提出して以降、これまでの間、G20サミットの誘致が実現されるよう、積極的に取り組んでまいりました。

たとえば、府議会9月定例会の本会議一般質問（広野瑞穂議員）では、G20サミット首脳会議の誘致について、「誘致を勝ち取るために、大阪の強みをアピールするなど、国に対してしっかりと働きかけていくことの重要性」や「大阪での開催が決定すれば、会議までの期間が短く、会議の規模を踏まえると、今からでも準備を進めていくことの必要性」を提案してまいりました。

G20サミットは、国際的に大きな意義を持つ会議であり、これまでワシントンやロンドンなど、世界有数の国際都市で開催されてまいりました。大阪では、過去に、1995年にAPEC、2008年にG8サミット財務大臣会合を開催した実績はありますが、G20サミットは、大阪はもとより、日本でも初めて開催される会議であり、これまでの経験を超えるものになることが、予想されます。

過去のAPECやG8サミット財務大臣会合開催の際にも、開催の1年以上前から、大阪府・大阪市・経済界が協力体制を構築し、府民の機運醸成や、警備計画の策定など、万全の準備を進めることで、無事、会議を成功させることができました。

この経験を踏まえ、かつ、これまでに大阪が経験したことのない緊張感をもって、万全の受け入れ体制を構築し、G20サミットが無事に成功裏で終わることができるよう、2月定例会も含め、今後しっかりと議会等で議論し、提案をしてまいります。